

順序	会 派 名	氏 名	答弁を求める者	
3	市 民 連 合	片 平 孝 市	市 長	教 育 長
			市立病院長	関係局長

発言の要旨

<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1)市長の1期目の4年の評価と総括</p> <p>(2)市長の2期目への抱負と決意</p> <p>(3)スマート農業、6次産業化への取組状況と課題</p> <p>(4)歩いて楽しめるまちづくりへの具体的な事例と課題</p> <p>(5)本市施設の利用料や使用料、手数料等の値上げに踏み切った背景と真意</p> <p>2 令和7年度当初予算と地方財政計画及び本市財政の姿について</p> <p>(1)臨時財政対策債発行ゼロに対する見解、本市財政運営の変化や影響</p> <p>(2)地方債依存度に対する見解</p> <p>(3)プライマリーバランス赤字の内容と重視した点、次年度以降への影響、今後の推移</p> <p>(4)基金の目安の見直しの必要性、現行での施設整備への対応は可能か</p> <p>3 「鹿児島市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」について</p> <p>(1)令和6年度末までの事業の進捗状況、追加や見直されたもの</p> <p>(2)ロボットの効果と市民の反応</p> <p>(3)人材育成の成果と全庁的なDXの推進はどう図られてきたか</p> <p>(4)前期計画3年間のフェーズ1、2ごとの進捗状況、フェーズ3を見据えたものか、状況</p> <p>(5)前期計画終了までの到達点と残されている事業</p> <p>4 合併20周年を機にさらなる魅力の発掘で合併5地域の発展の糧とすべきことについて</p> <p>(1)令和6年度の合併5地域の事業における全体的な特徴と成果について</p> <p>①喜入地域における具体的な取組内容</p> <p>②喜入地域の成果の背景と、そこから見えるもの（共創の特徴と観点）</p> <p>③喜入地域の新たな施設の利用状況</p> <p>④吉田、桜島、松元、郡山地域におけるそれぞれの魅力と、何が地域おこしとして考えられるか</p> <p>(2)新年度事業の取組について</p> <p>①6年度の成果はどう生かされているか</p> <p>②どのように展開し継続させるか</p> <p>③合併5地域の今後の発展のカギは何か、この間の事業から考察される市民局長の思い</p> <p>5 宅配ボックス設置について</p> <p>(1)施策の効果をどう検証したか</p> <p>(2)優良財源の情報をどう収集しているか</p> <p>(3)新年度の事業としなかった理由と今後の導入に向けた見解</p>
--

- 6 鹿児島市再犯防止推進計画の具体的な取組について
 - (1) 更生保護ボランティア活動団体と本市の協働体制
 - (2) 対象者の多い南部地域へのサテライト型更生保護サポートセンター設置への支援
 - (3) 安心安全で犯罪が繰り返されない都市を創る取組への市長の決意

- 7 高齢者保健福祉・介護保険事業計画における認知症施策について
 - (1) 新しい認知症観とは
 - (2) これまでの取組の成果と課題
 - (3) 課題の克服のためのこれからの取組
 - (4) 本市各部局との連携のありよう
 - (5) 共生社会を実現した姿

- 8 重度心身障害者等医療費助成事業について
 - (1) 令和6年7月から7年1月までの申請件数と助成額の5年度との比較割合
 - (2) 制度変更に対して寄せられた意見要望
 - (3) 制度変更は制度の後退と考えるが当局の考え
 - (4) 自立支援医療制度と同様な制度を検討されたものか
 - (5) 月5,000円を自己負担とした場合の影響額

- 9 本市における賃上げの現状について
 - (1) 本市の倒産件数（直近3年の実績）
 - (2) 元本返済期日が到達した融資の返済状況
 - (3) 経営が今なお厳しい状況の会社へのバックアップ
 - (4) 本市の中小企業の賃上げの現状
 - (5) 定期給与の平均月額（直近3年）
 - (6) 定期給与の最低賃金とその改定率との比較
 - (7) 令和7年度の産業振興部の主な取組

- 10 プレミアム付商品券等発行支援事業について
 - (1) 令和6年度実施分の実績見込
 - (2) これまでの事業効果
 - (3) これまでの実績の分析から見えた課題とその克服のための対策

- 11 インバウンド観光について
 - (1) 訪日外国人旅行者の動向と分析
 - (2) インバウンド誘客の取組と成果
 - (3) 受入体制の整備状況
 - (4) 魅力づくりの取組と成果
 - (5) これまでの課題と今後の展開

12 トップスポーツ公式戦誘致について

- (1) 国内におけるトップスポーツ競技の種類
- (2) 市内におけるトップスポーツ競技の公式戦の開催状況
- (3) 本市でキャンプを実施しているトップスポーツの種類とチーム数
- (4) トップスポーツ競技の公式戦誘致への取組
- (5) トップスポーツ競技の公式戦開催の経済効果
- (6) トップセールスとしての市長の決意

13 人と自然が共生する花いっぱいのみちづくりについて

- (1) 公園の花の選定と植え替え時期
- (2) 街角の花の選定と植え替え時期
- (3) 甲突川千本桜再生プロジェクト事業の進捗状況と課題
- (4) 城山公園自然の森再生事業の進捗状況と課題
- (5) 地域の特色を活かした花植への推奨活動

14 水と水辺を活かしたまちづくりについて

- (1) 錦江湾を活かしたまちづくりの事例と今後の計画
- (2) 甲突川などの河川を活かしたまちづくりの事例と今後の取組
- (3) 本市の市街地で水を活かしたまちづくりの事例と評価、今後の取組
- (4) 旧5町地域の水を活かしたまちづくりの事例と今後の取組

15 住居表示について

- (1) 令和6年度末における住居表示の実施率
- (2) 7年度以降の取組
- (3) 市街化調整区域及び旧5町地域への取組

16 建設業者の施工能力向上への取組について

- (1) 対前年度比 12.1%減の主な要因分析（令和6年度における前倒し予算額含む）
- (2) 過去5年間の国の内示率の推移と国への要望
- (3) 建設局の工事契約件数の推移（4年度～6年度の各12月末）
- (4) 4年度から6年度までの総合点数ごと（1,000点以上、800点以上1,000点未満、600点以上800点未満、600点未満）の業者数

17 市立病院の経営状況について

- (1) 新年度予算の赤字の分析
- (2) 年度末資金残高の過去5年間の推移
- (3) 経営計画と乖離してきた理由と今後の見直しの考え
- (4) 再整備計画の遅延の要因とその影響
- (5) 南九州における中核的病院としての診療科整備状況の認識
- (6) 病院独自での黒字化への取組と赤字経営からの脱却の見通し
- (7) 設置者としての病院経営への責任の認識

18 市立病院の鹿児島大学大学院との連携講座設置について

- (1) 博士課程取得機関指定への取組
- (2) 指定機関として医師のスキルアップ効果
- (3) これまで博士課程を取得した医師数
- (4) 有望な医師確保策への効果
- (5) 若手医師の育成機関として果たす役割の認識

19 交通局の予算編成について

- (1) 新年度予算編成における特徴的な考え
- (2) 経営計画と乖離してきている要因とその影響と見直しの取組
- (3) 過去5年間の事故原因分析（人に起因するものと施設設備によるものの別）
- (4) 事故ゼロへの取組とそれらに係る予算措置と財源の裏づけ
- (5) 設置者としての交通経営への責任の認識

20 上下水道事業について

- (1) 他都市での陥没事故を受けて本市の上下水道管路の維持管理の現状と課題について
 - ① 上下水道管路の点検・調査はどのようにされているのか
 - ② 過去5年間で水道管路の漏水が原因の陥没箇所が何か所あったのか
 - ③ 過去5年間で水道管路の漏水が原因の陥没に起因する事故が発生したことがあるのか
 - ④ 過去5年間で下水道管路の老朽化が原因の陥没箇所が何か所あったのか
 - ⑤ 過去5年間で下水道管路の老朽化が原因の陥没に起因する事故が発生したことがあるのか
 - ⑥ 点検・調査の課題
- (2) 上下水道の老朽管の改築・更新計画と進捗状況及び課題
- (3) 雨水の浸水対策の現状と課題
- (4) 上下水道技術職の育成の現状と課題

21 学校敷地内（小・中・高校）の駐車場への利活用の現状と課題について

- (1) 教職員の利用状況と管理運営
- (2) 来訪者への駐車場の確保状況
- (3) イベント時等の駐車場の利用の在り方と課題
- (4) 教職員の駐車場利用に際しての使用条件等
- (5) 学校敷地内での事故や児童生徒が車を損傷させたときの対応
- (6) 学校敷地内利活用の教育委員会の統一的な指導

22 教育行政について

- (1) 令和7年度の鹿児島県公立高等学校入学者選抜出願、一般入学者出願状況について
 - ① 推薦入学者選抜における市立3校の学科ごとの募集定員と出願者数
 - ② 市立3校の過去2年と7年度の推薦入学者選抜の出願状況、そこから見える要因や特徴の分析
 - ③ 鹿児島商業高等学校と鹿児島女子高等学校における学科再編後のさらなる新年度の対策や対応

(2) 学校規模の適正化適正配置への対応について

- ① ガイドラインが示された以降6年間で桜島学校と明和校区以外に動きが見えないことへの見解
- ② 「学校整備推進担当部長」を配置しどのように推進するのか
- ③ 推進体制の強化に伴う目標や進行管理はどうなるか
- ④ 明和校区の小中一貫の義務教育学校の開設に向けて年度内に具体的に何をどう進めるのか
- ⑤ 新年度の展開、開校までの時間軸